

令和4年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会 議事録

1 日時 令和4年8月25日(木) 午後1時00分から午後2時15分まで

2 場所 千葉市新港学校給食センター 2階 大会議室

3 出席者

(1) 委員

石井委員、江波戸委員、大野委員、大濱委員、荻原委員、榊原委員、
宮崎委員、村中委員

(2) 事務局

渡邊保健体育課学校給食担当課長、徳田公会計班主査、松山公会計班主任主事、
石井給食班指導主事、三橋大宮学校給食センター学校給食アドバイザー、
五味こてはし学校給食センター学校給食アドバイザー、竹田新港学校給食センター栄養教諭

4 議題

(1) 役員の選出について

(2) 令和4年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について

(3) 食育の推進について

5 報告事項

(1) 給食費の未納対策について

(2) 地場農産物の導入について

6 議事の概要

【議題】

(1) 役員の選出について

委員の任期満了に伴い、会長・副会長を選出した。委員より、会長は大濱委員に、副会長は荻原委員が推薦され、承認、決定した。

(2) 令和4年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について

事務局から説明し、質疑応答が行われた。

(3) 食育の推進について

事務局から説明し、質疑応答が行われた。

【報告事項】

(1) 給食費の未納対策について

事務局から報告し、質疑応答が行われた。

(2) 地場農産物の導入について

事務局から報告し、質疑応答が行われた。

7 会議経過

《開会》

○石井指導主事

会議に先立ちまして、学校給食センターを所管いたします、同じく保健体育課の渡邊給食担当課長よりご挨拶申し上げます。

○渡邊学校給食担当課長

(挨拶) ただ今、ご紹介をいただきました、学校教育部 保健体育課学校給食担当課長 渡邊でございます。本来ですと、学校教育部長の鶴岡からご挨拶申し上げるところですが、本日所用で出席がかないませんでしたので、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日は、皆様方には暑さ厳しいおり、また、大変お忙しい中、本運営委員会にご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。本運営委員会の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和2年度・3年度については、書面開催とさせていただきました。3年ぶりの開催となりますが、感染対策を講じた上でとなりますので、出席の皆様には、ご協力いただけますようお願いいたします。

本年は、委員の任期満了に伴い、新たに10名の方々に委員を依頼させていただきました。中でも3名の方が新たに委員となられております。継続して委員をされる方々、そして、新たに委員となった方々皆様のご協力により本運営委員会を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いします。

さて、学校給食の目的は、従来の栄養補給のための食事にとどまらず、食育の観点を踏まえて、地場農産物を導入した地産地消の推進や、行事食・郷土食を献立に取り入れるなどして、学校給食を「生きた教材」として活用した、食育の推進を図ることについても、求められています。学校給食センターでは本趣旨を十分理解し、学校職員や保護者の皆様方のご理解・ご協力をいただきながら、安全で魅力ある給食づくりをとおして、食育の推進にも積極的に取り組んでいるところでございます。本日の会議では委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見やご指導をいただき、有意義な会議となりますことをお願いして、私の挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○石井指導主事

続きまして、委員の方々をご紹介いたします。本年6月30日をもって、本運営委員会の委員の方々は任期満了となりましたので、新たに推薦団体から選出していただき、10名の委員を新たに依頼いたしました。あらためまして、お手元の委員名簿に従いましてご紹介させていただきます。

《委員・事務局の紹介》

○石井指導主事

本日は、委員10名のうち、8名の出席でございます。「千葉市学校給食センター運営委員会規則」第4条の規定により、会議は成立いたしますので、ご報告いたします。また、傍聴人は、1名となります。なお、本日の会議でございますが、「千葉市情報公開条例」に基づく、公開の会議でございます。また、議事録を市のホームページで公開する関係から録音させていただきますので、併せてご了承いただきたいと存じます。

それでは、会議を始める前に、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、「令和4年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」の「次第」、「座席表」「委員名簿」のほか、A4用紙の「議題1」と「議題2」、そして最後に、報告事項について、1から2までの資料となります。

以上の資料でございますが、もし不足していましたら、事務局までお申し付け下さい。

それでは、議事を進行いたします。本委員会の会長を選出いたします。千葉市学校給食センター運営委員会規則第3条第2項により、会長は委員の互選により定めるとされております。委員の方から立候補または推薦をお願いいたします。

○大野委員

会長は、千葉市医師会の大濱委員にやっていただければと思います。

○各委員

「異議なし」との声多数。

○石井指導主事

それでは、大濱委員には、会長席の方へお願いいたします。(大濱会長は会長席に移動)

大濱会長より、ご挨拶をお願いいたします。

○大濱会長

(挨拶) ただいまご紹介いただきました、大濱でございます。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。本運営委員会には、平成24年度から今期で10年目になります。宜しく願いいたします。個人的には、私は、中央区で小児科を開業してしまして、2校の学校の学校医を務めております。

本年は、3名の方が新たに委員になられたとのことでございますが、継続して委員をされる方々、そして、新たに委員となった方々のご協力により、本運営委員会を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。学校給食におきましては、食育の推進、食の安全など、様々な課題があるかと思っております。委員の皆様方には、それぞれの立場から積極的なご意見やご指導をいただき、千葉市の子どもの健康の保持、増進が図られることを願ひまして、私の挨拶と代えさせていただきます。

○石井指導主事

それでは、会議の議事に入りたいと思いますが、大濱会長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○大濱会長

議事に入ります。委員の皆様よろしくお願い申し上げます。

まず、副会長について、選出いたします。同じく運営委員会規則第3条第2項により、委員の互選により定めるとされております。委員の方から、立候補または推薦をお願いいたします。

○大野委員

荻原委員を推薦します。

○各委員

「異議なし」との声多数。

○大濱会長

「異議なし」とのことですので、荻原委員、副会長席に移動をお願いいたします。(荻原副会長は副会長席に移動) それでは、荻原 副会長より、ご挨拶をお願いいたします。

○荻原副会長

(挨拶) 皆さん、こんにちは。幸町第一中学校校長の校長の荻原といたします。幸町第一中学校にきて、2年目になります。昨年も委員をさせていただきましたが、書面開催となり、今年度初めて顔を合わせて、この会議に参加させていただきます。

先ほど会長のお話にありましたが、学校給食法に則って、子供たちの健全な成長のために責任をもって努めて参りたいと思います。副会長としての職責を果たしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○大濱会長

議事録署名人については、運営委員会終了後、荻原副会長にお願いします。

それでは次第に沿って、『議題1 令和4年度千葉市学校給食センター予算及び事業計画について』事務

局よりお願いいたします。

○渡邊学校給食担当課長

《議題1「令和4年度千葉市学校給食センターの予算及び事業計画について」資料により説明》

○大濱会長

それでは、ただいまの「議題1」の説明に対しまして、ご意見・ご質問がございましたらお願いします。

○大野委員

学校給食の衛生管理について教えていただきたいんですけども、かなりの給食数を作っていますが容器について教えてください。劣化の問題や摩耗の問題による衛生面では、小学校では食器の検査を学校薬剤師が行っているのですが、給食センターではどのように食器の汚れですとか、買い替えの時期を検討しているのか、教えてください。

○事務局（渡邊学校給食担当課長）

給食センターにつきましては、最初の契約の時に、定期的に食器を交換することが決められています。そういった形で交換しています。

○大野委員

特に油（汚れ）が多かったときの洗浄の洗い残しなどがあると思うのですが、日常的な点検はどうなっていますか。

○竹田栄養教諭

毎月、月末に残渣の汚れについて、報告がきています。

○大野委員

わかりました。

○大濱会長

他にご質問がありますか。

ないようですので、次に『議題2 食育の推進について』、事務局より、説明をお願いいたします。

○石井指導主事

《議題2「食育の推進について」資料により説明》

○大濱会長

それでは、ただいまの「議題2」の説明に対しまして、ご意見・ご質問がございましたらお願いします。

○石井委員

資料の2ページ目の(2)に、中学生の職場体験学習の実績がここに出ているんですけども、中学校の職場体験が始まって20年以上たつと思うのですが、その割には数が少ないかなと思うんですけども。もう少し増やす対策とか、あと、1回センターの職場体験を実践した校長先生が、次の学校に異動した時にもう一度学校でやってもらうとか。何か対策としてもう少し増やしていくと、子供たちが実際に体験して、それをクラスで報告すると、給食をセンターで一生懸命やってくれるのかということで、自分が体験したことを子供たちに話すと、給食についてまた考えが違ってくるので、数をもう少し増やす方策というか、具体的な方法があるといいと思うのですが、いかがでしょうか。

○大濱会長

どうでしょうか、事務局の方。

○石井指導主事

先ほども報告したとおり、令和2年度、令和3年度はコロナの影響がありまして、令和2年度は行われ

ていないと思います。

○荻原副会長

令和2年度については、校外に出ることが自粛されていて、未実施でした。

昨年度の本校の状況ですと、直接体験するというよりは、キャリア教育の一環として進めたいということで、訪問して質問形式で、対面で人数をしぼって、何とか去年工夫して、受け入れてくれているところに質問に行くという形で、実質体験というところまでは難しい状況でした。

今年度は11月に予定して、3日間コロナの対策をしながら、なんとか通常の体験をできる範囲でやらせてもらうように進めてもらっています。

もしかすると、経年変化では令和2年度以降の実績があるのかなと思うところです。

○石井委員

その前までの、コロナが始まる前の実績というのはわかりますか。

○荻原副会長

キャリア教育の一環として、受け入れを探す中で、給食センターでは、ほぼ受け入れていただいていると思います。実績はここにはないので。

○石井委員

はい。わかりました。

○榊原委員

合わせて、その内容について自分が思ったのは、受け入れる人数を増やせるのかどうか。コロナだから受け入れる数が少ないのはわかりますが、給食センターの業務もあるので、中学校が希望した場合に参加者数を増やすことができるのかどうかをお聞きしたかったと思いました。

○三橋学校給食アドバイザー

受け入れた子供たちに対応する人数が必要なので、3名とか4名とか、それ以上は難しいかと思います。あとは、期間ですね。それぞれの学校が計画を立て、それを受け入れるという形をとっているんですけども、概ね中学校の計画だと、大体この時期って中学2年生がやることが決まっているところもあるのかなと思います。そうなった時に重なってしまうと、日程を調整して、ずらしたということもありました。その辺のやり取りがうまくいけば、若干は増加することができると思います。

○大濱会長

よろしいでしょうか。他にご質問がありますか。

○村中委員

食に関する指導の資料とか、栄養教諭の先生方にきめ細やかに作成していただいて、学校に通知を出していただいている、担任の先生方に給食に関して指導していただいていると思いますが、残菜の方はどうなっているのかと思ひまして。指導に対して残菜が減ってきているのか、そういう記録はあるのでしょうか。以前に比べたら、放送資料とか一口メモとか、数多く出していると思うんですけども子供たちが毎日食べて、その結果をどう反映しているのか、また、それに対して残菜が多かったものに一口メモを出したりとか、そういうことは考えているのでしょうか。

○渡邊学校給食担当課長

給食センターの残菜につきましては、令和2年度は一時給食を実施していなかったという時期もあったりするので、単純に比較はできないんですけども、令和元年度と比較しても、令和3年度は減っているという状態です。どういった理由があるかというのは、分析は難しいところはあるのですが、それより前の年度では、年度によって変動はあるんですけども、平成26年度ですと269トンくらいあったものが

令和元年度だと222トンくらいということで、だんだん減ってくるというような形です。ただ、お子さん自体が減るということもありますので、一概に比較することは難しい状況です。

○村中委員

小学校を卒業して中学校へ行って、子供たちが遊びに来た時に、中学校の給食がおいしいということを学校の職員として聞くことがあるんですけども、子供たちが小学校と全然違うイメージで不安をもっている中で、中学校の給食はおいしいと言っているということ、どうやってセンターの人たちに伝えたらいいんだろうと思いながら日々過ごしていました。これだけきめ細やかに色々な資料を作ってくさっているの、子供たちに響いて残菜が減っているというのは、うれしいなと思いました。ありがとうございました。

○大濱会長

他にご質問がありますか。

○江波戸委員

保護者の立場から、いつも献立表を見させていただいておりますが、今回の献立及び食育指導資料についての年間計画と細かく考えていただけてありがたく思っております。

子供たちの栄養バランスについてお聞きしますが、中学生の部活をやっている生徒とやっていない生徒の差があると思うのですが、その辺はどのようなカロリー計算となっているのか、教えていただきたいです。

○石井指導主事

文部科学省によって、献立の栄養量は摂取基準が定められています。献立作成においては、その基準を基に作成しております。あとは、クラスの方でも体格差等の個人差がありますので、そちらを加味していただいて、配膳を行うということになります。

○江波戸委員

そうすると、特に学級自体のカロリー的な感じで、きっちりというよりも、多めに配膳されているのかどうなのですか。

○石井指導主事

基準量は中学生で一定でございますので、その摂取基準に基づいて、給食センターから各クラス分を配缶しております。

○江波戸委員

はい。ありがとうございました。

○大濱会長

他によろしいでしょうか。

続いて、報告事項（１）の「給食費の未納対策について」、事務局より報告をお願いいたします。

○徳田公会計班主査

《報告事項（１）「給食費の未納対策について」資料により報告》

○大濱会長

報告事項につきまして、ご質問がありますか。

ないようですので、続いて、報告事項（２）の「市内産農産物の使用状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

○石井指導主事

《報告事項（２）「市内産農産物の使用状況について」資料により報告》

○大濱会長

今の報告事項につきまして、ご質問がありますか。

ないようですので、事務局から「その他」、何かございますでしょうか。

○渡邊学校給食担当課長

特にございません。

○大濱会長

それでは、これで、「令和4年度第1回千葉市学校給食センター運営委員会」を終了いたします。

協力ありがとうございました。

事務局へお返しします。

《閉会》

上記議事録は、事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

令和 4 年 10 月 25 日

議事録署名人

副会長

荻原 洋

問合せ先 千葉市教育委員会学校教育部保健体育課

TEL 043-245-5945

FAX 043-245-5982

